専門学校 健祥会学園　保育学科　カリキュラムツリー

アドミッションポリシー

○人が好きで，人のために，自分に何ができるかを考えることができる人
○人との出会いを大事にし，人とのつながりを大切にし，協調できる人
○目標達成に向けて，自らの可能性を伸ばし，意欲的に取り組むことができる人

ディプロマポリシー

人間力	専門力	実践力
・コミュニケーション能力や協調性・社会性を有し，保育士・幼稚園教諭としての自覚を持ち，「心と心を繋ぐ」保育の実現を目指すことができる	・修得した知識や技術を活用しながら保育の現状を理解することができる ・乳幼児の発達段階や取り巻く環境，課題を発見し解決することができる	・専門職としての知識と技術を身に付け，乳幼児のきったいを理解し円滑な支援・指導を行うことができる ・乳幼児の教育に携わる使命感や責任感，探求心を持ち，常に自己の保育実践を反省・評価し，改善していこう

カリキュラムポリシー

現場に即した実践教育を行い，専門的知識や技術を身に付けた保育士・幼稚園教諭を要請するため，次の方針でカリキュラムを編成する

人間力

乳幼児の教育に携わる使命感や責任感・倫理観を身に付けた人間性を養う教育を行う

専門力

保育士・幼稚園教諭として必要な基礎的な理論や知識，技術を修得し，実習を通じて実践力の素地を養う教育を行う

実践力

実習を通じて総合的な実践力を修得し，自己の実践を省察することができる教育を行う

区分	系列	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期
専門教育科目Ⅰ	保育の本質・目的に関する科目	教育原理		保育原理	
		社会福祉		子ども家庭支援論	子ども家庭福祉
		社会的養護Ⅰ		保育者論	
	保育の対象の理解に関する科目		幼児の心理学	保育の心理学	子ども家庭支援の心理学
				子どもの保健	
				子どもの食と栄養	
	保育の内容・方法に関する科目	音楽（理論）		社会的養護Ⅱ	子どもの健康と安全
		幼児と音楽表現Ⅰ	幼児と音楽表現Ⅱ	音楽表現技術Ⅰ	音楽表現技術Ⅱ
		乳児保育Ⅰ		乳児保育Ⅱ	
		保育内容総論	保育の計画と評価		
		健康	幼児の人間関係	幼児と健康	
		幼児と言葉	5領域	幼児への特別な支援	子育て支援
		幼児と環境			
		幼児と造形表現	造形表現（指導法）		
	保育実習		保育実習Ⅰ（保育所）		
			保育実習事前事後指導Ⅰ（保育所）		
			保育実習Ⅰ（施設）		
			保育実習事前事後指導Ⅰ（施設）		
	総合演習				保育実践演習
専門教育科目Ⅱ	保育の本質・目的に関する科目	教育方法論	教職概論		
					教育相談
	保育の対象の理解に関する科目	幼児の観察と理解Ⅰ		幼児の観察と理解Ⅱ	幼児の観察と理解Ⅲ
	保育の内容・方法に関する科目	音楽表現（指導法）	劇あそび（指導法）		児童文化
					言語表現
					幼児体育
	保育実習			保育実習Ⅱ	
				保育実習事前事後指導Ⅱ	
教養科目	教養科目	健康科学	生涯スポーツ	日本国憲法	
		英会話			
		国語表現			
		情報処理入門			
		キャリア形成入門			
特設科目	特設科目	まなび学Ⅰ		まなび学Ⅱ	
				食育Ⅰ	食育Ⅱ
					人形劇

目指す保育士像

全国保育士会倫理綱領より

1．子どもの最善の利益
一人ひとりの子どもの最善の利益を第一に考え，保育を通してその福祉を積極的に増進するよう努めることができる

2．子どもの発達保障
養護と教育が一体となった保育を通して，一人ひとりの子どもが心身ともに健康，安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し，生きる喜びと力をはぐくむことを基本として，その健やかな育ちを支えることができる

3．保護者との協力
子どもと保護者のおかれた状況や意向を受けとめ，保護者とより良い協力関係を築きながら，子どもの育ちや子育てを支えることができる

4．プライバシーの保護
一人ひとりのプライバシーを保護するため，保育を通して知り得た個人の情報や秘密を守ることができる

5．チームワークと自己評価
職場におけるチームワークや，関係する他の専門機関との連携を大切にすることができる。また，自らの行う保育について，常に子どもの視点に立って自己評価を行い，保育の質の向上を図ることができる

6．利用者の代弁
私たちは，日々の保育や子育て支援の活動を通して子どものニーズを受けとめ，子どもの立場に立ってそれを代弁することができる

7．地域の子育て支援
地域の人々や関係機関とともに子育てを支援し，そのネットワークにより，地域で子どもを育てる環境づくりに努めることができる

8．専門職としての責務
研修や自己研鑽を通して，常に自らの人間性と専門性の向上に努め，専門職としての責務を果たすこと